

【集計結果】

※アンケートは埼玉県視覚障害者福祉協会や、塙保己一学園などおよそ300人に送付。

主に音声読み上げソフトを使ってメールで行った。

回答は、112人（およそ37%）から得ることが出来た。

問1 性別を教えてください。

ア、男性 → 54人

イ、女性 → 57人

・回答なし → 1人

問2 年齢を教えてください。

ア、10～19歳 → 13人

イ、20～29歳 → 2人

ウ、30～39歳 → 11人

エ、40～49歳 → 27人

オ、50～59歳 → 20人

カ、60～69歳 → 29人

キ、70～79歳 → 8人

ク、80歳以上 → 1人

・回答なし → 1人

問3 外出移動状況を教えてください。

ア、ガイドヘルパーさん又はご家族と外出 → 63人

イ、盲導犬と外出 → 8人

ウ、白杖で外出 → 62人

エ、多少視力があるのでガイドヘルパー・盲導犬・白杖などを使用せずに外出 → 15人

オ、外出しない → 2人

・回答なし → 1人

問4 問3でア、～エ、を選択された方は、外出移動時に危険や恐怖にさらされたことは、ありますか。

ありましたらなるべく具体的にいつ・どこで・どんな状況に遭遇したかお書き下さい。

★「ない」と回答した人 → 37人（33%）

★「ある」と回答した人 → 75人（67%）

1) 「ある」の内、体や白杖の接触や、
厳しい言葉をかけられるなどの対人トラブル。 → 47人

2) 「ある」の内、1) 以外。

→ 28人

以下は、回答の内容です。

1) 「ある」の内、体や白杖の接触や、
厳しい言葉をかけられるなどの対人トラブル。主なものを抜粋。

○地下鉄駅内で、電車に乗ろうと走って来た人と交錯し、白杖が折れた

○擦れ違うときに肩がぶつかることは日常茶飯事ですが、すみませんと直ぐに言いますが相手の方が謝ってくれる人もいますが、舌打ちをしたり一言文句を言う人が多い
(同様回答 22 名)。

○会社へ通勤しているので、毎日、数えきれないぐらいあります。

路上(歩道も含む)、駅構内、地下街などの通路で、私の白杖が当たったり引っかかった

りした人から顔や体を叩かれたり、足をからめてきて私を倒そうとするなど、医療機関で

受診するほどではない程度の怪我をさせられたことが何度もありました。

○点字ブロックを歩いていると後ろから自転車に乗って来た方から「じゃまだ どけ」って言われてどっきりしました(友人と一緒に歩きました)。

○今年9月第2週、裏通りを歩いていたら突然だきつかれた(チカンにあった)。

○10年ほど前ですが 自宅の有る最寄りの駅を降り 帰宅途中のことです。一書に歩きましょうと 男の人が 声をかけてきました。親切そうな人でした。線路際の人通りの少ないところに 連れていかれ 胸に触られ抵抗するとブラウスを引きちぎられました。大声を出し悲鳴をあげたら慌てて逃げました。

○電車に乗ろうとホームで待って居たら電車が動いて居るのに後ろから押された事

○電車の中で肩をトントンと叩かれて、なんだろうと振り返ってしばらくしたら「なんで席をゆすってやったのに座らないんだ」と怒鳴られた。こちらは席をゆすってもらったことに気がついていない。

○点字ブロックの上を白杖を突き歩いて居る時に走行して来た自転車に、白杖を折られた。

○横断歩道を渡っている時、左折か右折してきた車に白杖を飛ばされた事がある。

○お茶の水駅のホームで若いOLに意味もなく蹴られました。最近はスマホや携帯をやりながら歩く人がぶつかります。

○最近特に危険を感じることは、駅構内での歩きスマホです。どこの駅でもです。改札口の手前だろうが、コンコースの途中、点字ブロック上でもです。

さらに逆の意味で怖いのは、階段の途中で立ち止まっていることです。

下り階段の途中で後ろからぶつかりそうになったことも何度かあります。

後ろから突き落としてしまったら、と思いながら階段を降りるのは本当にストレスです(同様回答7名)。

○ 朝の通勤時に、駅構内での移動の際は白杖を使っていることが目に入らないのか？よく人とぶつかることがある。その際に、「どこを見て歩いているんだ」といわれ、白杖に気づいてか？「ああ、なんだ」などといって、その場を離れていく場面にでくわしたことがあります。

○ 駅で、ラッシュ時にキャリーバッグをおしながら走ってくる人や、周りを見していないであろう人が走ってきて体当たりされて怖かった。

○ 通院時に点字ブロックのない道を白杖を使用しながら歩いていた際、50代位の女性の足をたたいてしまいました。この女性はかなり怒られていました。「足が痛い。杖をそんなに振って歩いたら危ないじゃない！」と言われました。

○ 昨年11月に大阪 JR 京橋駅前の駅広場で、周囲を複数の人に囲まれ、「ぶつかった

ただろ。金を出せ」といわれ、恐喝被害に会いました。警察に被害届を出しましたが「気の毒ですがあなたは犯人の顔を見ていないので、犯人を捕まえることはできないでしょう。証拠がないのです。今度からはなにかあった場合には携帯などで撮影しておく」と最寄りの交番の警察官から言われました。

○ 2年ほど前に JR 天王寺駅で、前から来る人に白杖が当たり、すれちがいざまお腹にパンチ。「コラ」と声を上げたが、逃げていく後姿が見えただけ。今から思うと、パンチも弱くよろめいた時に当たったのかもしれないが。一声あれば、笑って済むことなのに。

○ 電車で、盲導犬のことをしつこく聞いてきて、触ろうとしたりされた。近くにいた関西なまりのお兄さんが、「嫌がってんやろ！やめろ」と止めてくれたが、ふたりが喧嘩になりそうになったが他の人が止めてくれた。

○ 前のバスターミナルにて点字ブロックをつたい歩いていたところ、女子大生に突っこまれました。彼女の大学行きのバスが停車していたので急いでいたのでしょう。もちろん転ばせてしまったので、その場に立ち止り「大丈夫ですか？」と声をかけました。

○ 2013年の春先、新所沢駅から国立障害者リハビリテーションセンターへムカッての歩行訓練中、点字ブロックを白杖でたどって歩いていたら、男性の足に杖が当たってしまい、ひどく怒鳴られた事があります。「ごめんなさい、目が見えないのでぶつかってしまったのです、申し訳ありません」と謝罪しましたが、今日一日で何度も杖に叩かれて不愉快だと怒鳴られました。

2) 「ある」の内、1) 以外。主なものを抜粋。

○ 地下鉄の下り階段を転げ落ちた（幸い軽症で済んだが）

○ 点字ブロックの上に停車中のトラックのバックミラーに顔をぶつけた（同様回答4名）。

○ 電車に乗る際に、ホームとの間隔が空いており、間に落ちてしまった（同様回答6名）。

○ 線路とホームの間に足がはさまれたことがある。船に乗る時に落ちそうになった

ことがある。信号を渡っているときに方向が判らなくなった事がある。1人で外出した時に道を1本まちがえたら判らなくなった。

○駅のホームから落ちたことがある。道路に車が止まっている時に直進できず困った。

○1人で外出中、道に迷い方向を誤り自宅に帰り着くのに半日かかった（通常は1時間）。

○白杖で歩いていて、思わず車道に入り込んでしまって慌てた。60代女性

○今年の雪の降る日にフタの開いた側溝に落ちた（雪でなくても落ちますが）

○止まって居る電車に乗車しようと思い電車が来て居らずホームから転落した（反対側の

ホームに停車中の電車の音が大きかった事と最寄駅の天井が高く音が聞き取りにくかった為（同様回答3名）。

○JR千葉駅地下構内のタクシー降車後、地上に出るエスカレーターに乗ろうとしたが、そこは下りエスカレーターの降り口であった。そのエスカレーターは人が近づくとステップが動くタイプだったので、同伴のボランティアさんも気づかなかった。私は転んでしまった。

○白杖をもちガイドヘルパーに捕まって歩いてたのに、中に割り込まれた事や、エレベーターや混雑しているお店でキューキュー詰めにされ、ヘルパーさんから手が離れそうになった事がある。

○一昨年の春に駅のホームから線路に転落して右手を骨折しました。

○点字ブロックの上に自転車があり、よく白杖で突っ込み転ぶことが多々ある（同様回答4名）。

○最近では電気自動車が増え気づかないうちに、いきなり脇を通過するので、ひやっ！とすることがある（同様回答2名）。

○駅構内、ホーム、階段にお菓子などの食べ物がとてもたくさん落ちていて、犬が拾い食いをおぼえてしまった。階段の途中で犬が周知注力を欠くことが怖い。それが独物だったらもっと恐ろしいことになる。掃除をしてほしいし、食べ物を落としたり拾って処分してほしいことを啓発してほしい。

○電車が遅れていたようで、駅のホームには通勤客があふれていた。ホームの端を歩いていたら、すぐ横を貨物列車がすごいスピードで走ってきた。怖かった。ホームでの駅員の補助があるべき。

○電車が遅れると、盲導犬がいることで、3本の電車をあきらめざるを得なかった。混雑で犬が踏まれてしまうから。

○駅や店などで、ルーペでものを見ているとき、じろじろ見られることがあり、気持ち悪かった。

問5 問3でオ、を選択された方は、外出しない理由を教えてください。

ア、仕事を自宅ですしているため外出の必要性を感じない

イ、外出は、怖くてできない

ウ、外出は、してみたいがガイドがないのでできない

エ、家族が心配するので外出できない

オ、その他何かありましたらお書きください。

・回答なし → 2人

(以下「オ」の意見)

○ここ3年前ごろか！街や駅などで歩いている時に、声を掛けてくれる人が多くなってきたように思います。電車の中では座席をゆずってくれる人もいますが、かえって恐縮してしまうこともあるので、ごく一般的な対応（対等の立場で）の心づかいをしてもらえるとよいと思っています。

席があいている時には、「こちらの席があいています」などと、声をかけてもらえたらありがたいです。

○視覚障害者は音が頼りなので声を出して対応していただけたら助かります。

○視覚障害者も教育が必要ですが、一般の方に点字ブロックや白杖（車椅子・障害者全般）の理解をマスコミや学校教育で広げていただきたいです。

○盲導犬の事件、女子高生の事件（自己と呼ぶ方が正解でしょうか）このアンケートが来てから、報道によると加害者の人は障害をもっているとの事ですが、この機会に健常者（子供さん）も障害者にも全ての人に、さまざまな障害を持っている人が居ることが理解してもらえたら良いと思いました。

○先日の足を蹴られた事件は、たまたま見た人や防犯カメラに映像が残っていたため、早く加害者を見つける事ができたけど、軽い知的障害があるとの事でしたね？あとはどうなるのでしょうか？。私の住んでる町は田舎で、防犯カメラは数えるくらいしかないし、ほとんど歩いてる人はいないくらいのがため、同じような事件があっても多分なきねいりの状態だと思います。人としてのマナー、他人を思いやる・ゆとりある暖かい心を、全世界の人にもってほしいものです。もちろん私達自身もそれを当たり前と思わず、一社会人として、自立した心をもって生きていかなければならないと思います。

○点字ブロックのすぐ脇に電柱があるので肩をぶつける事が、しばしばです。

○ホームの点字ブロックの上に置かれたカバンに躓くことがある。

○最近駅構内の掲示板、特に電車発着の案内板がすべて上に吊り下げられていて弱視の私は次の電車はどのホームから出るのが読み取りにくい場合が多く

見える人は歩きながら読めるのでしようがどうしても立ち止まることになり周りの迷惑になります。そんな時に多くの人と接触し怖いですね。

せめて壁にはりつけてくれれば壁際で立ち止まっても迷惑は少ないだろうしぶつかってこられることも少なくなると思います。震災の後、省エネは大切ですが、駅構内の中でも

階段の照明がおとされたのは怖かったです

○先日JR京浜東北線の列車に乗車しようとした時、発車寸前だったとは思いますがドアが開いていたので白杖を前に出したところ、ドアが閉まってしまい杖がはさまれてしまったので、引き抜こうとしましたがとれなかったため、手をはなしました

。結果、列車は杖をはさんだまま走って行ってしまいました。もし杖のゴムを手首にはさんでいてそれがすぐにはずれなかったらと思うとそのまま自分も引きずられて行ってしまったかも知れないと思うと、背筋がぞっといたします。なぜ杖がドアにはさまっていることが関知出来ないのかこれは重大なことだと思います。

○私はたいていこのような盲人を対象としたアンケートは返信しません。

今回、返信した理由は大きく2点あります。

1点は盲人女子高生の件と盲導犬の事件を同等に考えてはならないこと。

もう1点は私達盲人の一般常識の欠如の問題です。

まず、最初に記述した問題です。確かに2つの問題は

盲人という大きなくくりの中で起きました。しかし、盲導犬は盲人ではありません。

「犬」ですから言葉が話せません。これは私達盲人だけではなく色々な視点から守ってあげなければなりませんね。特別な訓練を受けているとはいえあくまでも介助をしてくれるのですから。

問題はもう1点の方です。盲人の女子高生は

「なぜ足をひっかけたのがわかっていたのにその場に立ち止り、謝らなかったのですか？」このことが大きな問題だと感じました。

健常者同士でさえも、肩がぶつかったぶつからないで、

昨今では刺されたりしますね。ある意味、この女子高生は

ただ脚を蹴られただけで運が良かったのでは？とも思いました。まずは、例え点字ブロックをつたって歩いていたとしても、人にぶつかってしまったり転ばせてしまったら「ごめんなさい。」ではないですか？ここが一般常識の欠如ですね。

私は中途失明者ですから、盲学校での教育というのは全く知りません。

しかし、盲学校出身の人の中には「あれ？大丈夫？」

などと思わせる言動がよくあるように感じる事がとても多いのも事実です。

まず、「障害者は障害者の

障害になってはいけない。」ということがとても大切だと思います。

それ以外にも、中途失明をした方はよく

「自己流で白杖を使っている。」ということを目にしますが

これも、きちんと訓練を受けることを薦めた方がいいかと思います。

車の免許を取る時だって教習所へ通い、

道交法、一般常識を習いますね。白杖歩行も同様だと考えてはいかがでしょう。

私達にとって「白杖」はなくてはならない物です。

しかし、健常者の立場にしてみたら「なぜあのように振って歩くのだろう？」

と思われる方も多いですね。メディアにはこういった歩行の

方法などを一般的に知ってもらえるようにしていただいたらどうですか？

障害があってもなくても同様ですよ。自分がやられて嫌なことは

たぶん、他人もやられては嫌だという予測がつけられるような教育も必要なのではないでしょうか？まずは私達がここを重視する必要がありますね。

そして・ ・ ・盲学校では盲人同士なのでぶつかってしまうことは日常茶飯事なの
かもしれません。ですから、いちいち「謝る」などということはないのかもしれない
ね。

しかし、これは一般的ではありません。眼が見えないのだからぶつかっても仕方がな
い。などと考えてくれる人はまあ、そうそういないでしょう。

私達視覚障害者の常識と一般常識の違いを教えてあげて欲しいと強く感じます。

最後になりましたが、私は極力どなたにも

「ありがとう。」と言うようにしています。介助をしてくれた方々にはもちろんです
が、

問題があり介助を断る時も「大丈夫です。ありがとうございます。」

と伝えるようにしています。

問6 外出移動時にリスク回避をするために心がけていることがありましたら教えて
下さい。

○なるべくゆっくり歩き、人とぶつかったら率先して謝るように心がけてます（同様
回答9名）。

○人の気配を感じた時は、杖のふり幅を小さくする（3名）。

○ヘルパーさんの、手当てができずやむを得ず一人で白杖便りに出
ることもあります。事故にはあったことはありません。しかし、常
に身近に置くように気を使っています。

電車、ばすに乗るときは折りたたみますし、ベンチに座っている
ときには自分んの足より前に出ないように気は付けてはいますが。

○駅ではホームからの転落に注意している。

外出時に、白杖が折れた場合の応急処置のできるようにビニールテープなどを携帯す
るようにしている（同様回答41名）。

○周りの方に白杖を突いていることを解かっただけのように鈴を付けています
（同様回答3名）。

○まず、絶対に焦って行動はしない（27名）。

○時間に余裕をみて行動をする（同様回答19名）。

○人とぶつかった場合は相手の人から返答がくるように「すみません。大丈夫です
か？」と声をかける（同様回答8名）。

○ 街なかで見知らぬ人に介助を申しでていただいた場合本当に急ぎでない限り解除
をしてもらう。（例え、単独で歩ける場所でも介助をしてもらう（同様回答6名）。

○危ないと感じたら、こちらから立ち止まるか、「通ります」、「恐れ入りま
す」のように声を出している。

白杖ユーザーであることを同じ視覚障害者の方や晴眼者などが気づくように、
大きめに音をたてて白杖をつくようにしている（同様回答3名）。

○ 声をかけられたら立ち止り、話をする。

- 白杖で何かをたたいてしまったら(点字ブロックの上でも)必ず「すみません。」と一声かける(同様回答19名)。
- パームソナーや黄色い小旗等を使い、自分でもできるだけぶつからない工夫や自分の存在を知らせる工夫をしてみている。点字ブロック上でもそうでなくても、ぶつかったり杖が人に触れてしまった時には謝るようにしている。特に混雑している駅の中やデパート・スーパー内は白杖の持ち方・扱い方に注意し、歩行もゆっくり慎重にしている。
- ヘルパーさんと歩く時でも必ず白杖を持つようにしている。
- 一人で歩いている時に不安になったら声を出し助けを求める。
- 鉄道を利用するときは、あらかじめ駅員さんに連絡し駅内のガイドを依頼して置く
()
- 公共交通機関を利用するときは、ラッシュ時間は避ける。
- 白杖は、あまり大きく振らないよう心がけてます(同様回答77名)。
- 外出は、(単独又はヘルパー)かかわらず、足回りの良い靴(足底の薄いもので軽くて動きやすい靴)を使用。
- 右手に白杖、左手は必ず自由になるよう空けている(同様回答5名)。
荷物などはリュックか、シュルダールバッグを斜めがけ。
- 電車のホームは出来るだけゆっくり歩く。
- ④電車から降りる場合は、速めにドアの付近へ移動しておく。
(乗車した際はドア近くから動かない)。
- 駅のコンコースなどを歩くときは白杖を軽く左右にたたきながら(周りの人に注意を促す意味程度で歩く)。
そして、全体の流れに沿って歩くようにしている。
- 絶えず周囲の音や匂い・風邪の流れなどを情報として取り入れて歩く。
- 衣服は、ユにクロブランドであっても、清潔なものを着用。
- 外出時は野球帽を使用(電柱に当たったり看板にあたったりしたときのプロテクター代わり。但し正面の防禦ですが、以外に横からの物体にも効果もあります)。
- 雨の日は両手が塞がるので外出はひかえている(同様回答4名)。
- 駅で混雑時は駅員の目の届くところから乗る。
- 同じ時間の電車に乗るようにして、周囲の人に私の存在を覚えてもらう。
- 私は盲ろう者(盲難聴)です。「ほとんど見えません、よく聞こえません。肩をたたいて呼んでください。手のひらに指で文字を書くと分かります。」と書いた札をかばんにつけて、周囲から見えるようにしている。弱点をさらすようで犯罪に巻き込まれる可能性も心配だが、無視されたという誤解からの危険を避けるため。またこちらから尋ねたい時にコミュニケーション手段を理解してもらいやすいので便利。
- *○ホーム上で、危ない時には、犬への指示を大きな声で言うようにして、周りの人に
気づいてもらえるようにしている。
怖い怖いと声をあげながら、ホームの端を歩いている。振り返ってみてくれる。
知らないひとだが、誘導してくれる人も現れる。

○神戸在住ですが点字ブロック上を歩く、点字ブロックがない所では壁やガードレールづたいに歩く、冬場なら「わたしは目が不自由です」とプリントされたジャケットを着用する。

○混雑してる場所では、なるべくヘルパーさんにくっつき(後ろにくっつくみたいな形)、白杖を自分の胸のところまで浮かし、相手にみえるようにしている。

*○盲導犬と電車やバスに乗るときは座席の下に座らせ犬の動きに注意し、立っているときは自分の体に付けて座らせています。

○暴力には関係ありませんが、今、自転車走行のマナーアップに取り組んでいます。

○私は少し視力はありますがいつも白杖は携帯しています。常に歩行は慎重にそして迷った時はためらわず人にたずねます。弱視の人で白杖をもちたがらない人もいるようですが(私も以前はそうでした)それは自分自身が危険なめにあいますし、周囲の人に迷惑をかける結果につたかると思います。白杖さえ持っていればまわりが気をつけてくれるし親切にもしてもらえます。視覚障害者は必ず白杖を携帯しなければいけないことは道交法でもうたわれていますね。

○地震に遭遇した場合、また僕は先天盲の他に難聴もあるので、介助者を使う頻度が

年々増えています。これがリスク回避のための最ではないかと僕は思っています。しかしながら、仕事に関わる部分、通勤・出張など勤労者としてはもっとも必要な場面で、仮に時間をたくさんもらえたとしても、現状では使えない仕組みになっています。今点字毎日に毎週のように点字受験可能な地方公務員試験の案内が載っていますが、ほとんどとととと「自力通勤可能」が要件になっています。では実際にことがおきたとき、どう対応されるのか?聞きたいです。東日本大震災にともなう交通混乱のおりにも、通勤についてほとんどなんらの配慮もありませんでした。降雪・台風のおりも同様。家族の協力でなんとかのりきった、僕と同じことを言っておられる方が多いです。